

信濃グランセローズの守護神《セロン様》

その昔、セロン星での野球の試合中に、強打者グラン選手の打ったボールが地球まで飛んできてしまいました。長野県の山中に住むカモシカがそれを見つけ、パクリと食べた途端、中野市営球場に向かっ

て走り出しました。球場に着くなりカモシカは飲み込んだボールのパワーで突然変異。今の形に生まれ変わり世論を驚かせ、「セロン様」と名付けられました。

「セロン様」のツノは大きく立派で、いつもそのツノをさわられていました。ある日選手がツノを握ってホームラン祈願をして試合に臨んだとつる、特大ホームランを放ち、



みごとチームが勝利しました。それから選手たちはツノを握ってから試合に臨むようになり、今日では、信濃グランセローズの守護神として球場入口に祭られています。

セロン様には一〇ハの縫い目があり、一〇ハの煩惱を受け入れることができ、現代人の心身につきまとして人を悩ますいつわいの欲望、迷いのもとを取り除いてくれるといわれています。

S H I N A N O
GRANDSEROWS
B A S E B A L L C L U B
ESTABLISHED in 2007